

2011 年度大学院生の経済実態に関するアンケート調査

全国の大学院生の皆様

お忙しい中、本アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

1. 本アンケート調査の趣旨

本調査は、全国大学院生協議会（全院協）が、全国各大学の加盟院生協議会・自治会の協力の下に実施する、全国規模のアンケート調査です。本調査は、大学院生の経済実態を客観的に把握し、もって大学院生の研究及び生活諸条件の向上に資する目的で行なわれるものです。

全院協は2004年度以来毎年アンケート調査を行ない、調査結果を『報告書』としてまとめ、広く社会に公表しています。その結果は、全院協のウェブサイトでご覧いただけます。また、私たち全院協は、この調査結果をもとに、文部科学省、財務省、文教政策に関する国会議員および主要政党に対して、学費値下げや奨学金政策の拡充などの要請を行ないました。こうした取り組みは、朝日新聞社および産経新聞などや在京テレビ局をはじめとした各種マスメディアからも注目され、取材を受けております。

日本における大学院生の経済実態の全国的な調査は、全院協以外では行われておりません。より多くの方々に回答いただき、調査の精度を高めていくことが求められております。ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 個人情報の保護

本アンケート調査で得られた情報は、以上に述べた目的以外に使用されることはありません。また、個人が特定される形で調査結果をまとめることはありません。回収された調査票は、調査結果がまとめられた段階で完全に廃棄されます。

3. 調査票への記入の仕方

- ・ 本調査票はこのページを含め、計9ページあります。
- ・ 一部を除き、該当番号の選択式となっています。該当する番号に○を記入してください。
- ・ 質問項目の右脇に「複数回答可」と、特に注意がある場合を除き、1つだけ該当番号を選んで回答してください。
- ・ 質問項目の中には記述式回答欄および自由記述欄があります。

2011 年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX：042-577-5679

E-mail:zeninkyo-jimu-owner@yahoogroups.jp

I 基礎調査

O. 所属大学院

所属大学院名.....【 】

1. 基本属性

1-1 性別

- ①男性 ②女性 ③その他

1-2 年齢

- ①20～24歳 ②25～29歳 ③30～34歳
④35～39歳 ⑤40歳以上

1-3-1 婚姻の別

- ①結婚していない ②結婚している（事実婚含む）

1-3-2 子どもの有無

- ①いる ②いない

1-4 学年

- ①M1 ②M2 ③OM ④D1 ⑤D2
⑥D3 ⑦OD

1-5 所属大学・機関

- ①国立大学法人 ②公立 ③私立
④その他の機関など

1-6 学系

- ①人文科学系 ②社会科学系 ③芸術系
④自然科学系（含工学） ⑤医学系
⑥その他（ ）

1-7 大学院の種類

- ①専門職大学院（ビジネススクール、法科大学院、
教職大学院など）
②研究者養成などを目的とする大学院

1-8 居住形態

- ①親や親戚などと同居 ②一人暮らしで下宿
③学生寮 ④パートナーと同居
⑤友人などと同居
⑥その他（ ）

1-9 国費留学生・私費留学生の別

※留学生の方のみ回答してください。

- ①国費留学生 ②私費留学生

1-10 あなたは社会人院生ですか。

※なおここで社会人院生とは、本業の仕事を
持っているか、本業の仕事を定年ある
いは早期退職した方が該当します。

- ①はい ②いいえ

1-11 卒業後の希望進路

- ①修士卒で就職 ②博士卒で研究職
③博士卒で研究職以外 ④未定
⑤その他（ ）

2. 収入・支出について

ここでは収入と支出についてお聞きします。次の表の各項目について、一か月あたりのおおよその平均額を数字で記述してください。なお、0円の場合も「0」と記入してください。

2-1 収入	2-2 支出
収入総額(奨学金借入も含める) 2-1-1【 万円】	家賃 2-2-1【 万円】
奨学金受給(借入・給付に限らず総額) 2-1-2【 万円】	通学費 2-2-2【 万円】
学振 2-1-3【 万円】	書籍費 2-2-3【 万円】
科研費・プロジェクト的な研究費補助 2-1-4【 万円】	調査研究費 2-2-4【 万円】
アルバイト収入 ※社会人における正規職の収入は記入しないでください 2-1-5【 万円】	その他研究に関する自己負担 ※学会などに関わる年単位の費用も、一か月あたりで計算してください 2-2-5【 万円】
TA収入 2-1-6【 万円】	
RA収入 2-1-7【 万円】	
非常勤講師収入 ※大学・専門学校における非常勤講師に限る 2-1-8【 万円】	
親などからの仕送り・小遣い 2-1-9【 万円】	

2-3 授業料

一年間に実際に支払っている授業料を教えてください。減免を受けている方は減免後の支払額です。なお、0円の場合も「0」と記入してください。

2-3-1【 万円】

※ 参考：国立大学の授業料標準額は約 53.6 万円。

※ 実質的に授業料減免に相当する奨学金を受給している場合は、その額を引いた支払額。

※ 休学中の方はこのまま[3. 収入と支出の関係]へお進みください。

2-3-2 今年度授業料の減免申請をしましたか。

- ①申請した[2-3-3へ] ②申請していない[2-3-4へ]

2-3-3 減免の割合。

- ①全額免除[3へ] ②50%以上の減額 ③50%未満の減額 ④減免なし

2-3-4 授業料をどのように支払っていますか。

- ①親・親戚などが支払っている ②自らの所得・奨学金・貯蓄から支払っている
③パートナーの所得・貯蓄から支払っている ④その他 ()

3. 収入と支出の関係

3-1 労働の目的について。以下で該当するものにお答えください。

3-1-1 アルバイトの目的。**複数回答可**

- ①生活費あるいは学費（研究費を含む）を賄うため ②将来に備えた貯蓄のため
③その他 ()

3-1-2 TA・RAの目的。**複数回答可**

- ①生活費あるいは学費（研究費を含む）を賄うため ②将来に備えた貯蓄のため
③指導教員等に頼まれたから ④自らの研究・教育キャリアのため
⑤その他 ()

3-1-3 非常勤講師の目的。**複数回答可**

- ①生活費あるいは学費（研究費を含む）を賄うため ②将来に備えた貯蓄のため
③指導教員等に頼まれたから ④自らの研究・教育キャリアのため
⑤その他 ()

3-2 研究生活をしていく上で必要な支出(授業料を除く)を、現在どのように賄っていますか。

複数回答可

- ①自らの貸金・奨学金・貯蓄で賄っている ②親などからの仕送りに頼っている
③パートナーの収入に頼っている ④そもそも必要最低限の支出も賄えていない(学業の継続が困難)
⑤その他 ()

4. 生活時間

一週間の生活時間をお聞きします。次の表の各項目について、一週間あたりのおおよその平均時間を**数字で記述**してください。なお、0時間の場合も「0」と記入してください。

4-1 労働時間	
従事時間および準備時間の合計を記入してください。社会人は記入不要です。	
アルバイト	4-1-1【 時間】
TA	4-1-2【 時間】
RA	4-1-3【 時間】
非常勤講師	4-1-4【 時間】
研究関連雑務 ※賃金にならないもの（ただし自身の研究に関するものを除く）。例えば学会 や研究会の事務など。	4-1-5【 時間】
以上合計	4-1-6【 時間】
4-2 研究時間	【 時間】
4-3 ゼミ・授業時間	【 時間】

5-5-2 ブラックリスト化の直接的(あなた自身への)影響はありますか。**複数回答可**

- ①奨学金の借入をあきらめた ②進学をあきらめた ③借入額を下げた
④将来への不安が増加した ⑤民間の奨学金に変更した ⑥影響はない
⑦その他 ()

6. 研究活動の実態

6-1 ゼミまたは私的な研究会に定期的に参加していますか。

- ①ゼミ・研究会ともに参加 ②ゼミのみ参加 ③研究会のみ参加 ④参加していない

6-2 学会活動

6-2-1 一年間の学会参加回数。

- ①0回[6-3へ] ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回 ⑥5回以上

6-2-2 国外の学会に参加していますか。

- ①はい ②いいえ

6-3 研究テーマや研究内容を設定する際、就職や外部資金(学生支援機構以外の奨学金、科研費、プロジェクト的な研究費補助など)の獲得を考慮に入れていますか。

- ①考慮に入れている ②どちらともいえない ③考慮に入っていない

6-4 日本学術振興会の特別研究員制度(学振)

6-4-1 過去一年間で学振に応募しましたか。

- ①応募した[7へ] ②応募しなかった[6-4-2へ]

6-4-2 応募しなかった理由を教えてください。

- ①そのような制度があることを知らなかったため ②採用されないと思ったため
③書類作成が煩雑で時間がとられるため ④年齢制限を超えているため
⑤修士課程一年次に在籍中のため ⑥その他 ()

7. 研究条件に対する意識

7-1 収入・支出への意識

7-1-1 収入の不足が研究に影響を与えていますか。

- ①はい[7-1-2へ] ②いいえ[7-2へ]

7-1-2 具体的にどのような影響が出ていますか。**複数回答可**

- ①授業料が払えない ②研究の資料・書籍を購入できない
③パソコン・インターネット環境を整備できない ④学会・研究会にいけない
⑤調査にいけない ⑥その他 ()

7-2 研究時間への意識

7-2-1 自分の研究を進める時間を十分に確保できていますか。

- ①はい[7-3]へ ② いいえ[7-2-2]へ

7-2-2 研究の時間を妨げる要因を教えてください。**複数回答可**

- ①アルバイト ②授業や研究会の多さ ③種々の雑務 ④就職活動 ⑤非常勤・TA・RA
⑥家事・育児・介護 ⑦心身の不調 ⑧その他 ()

7-3 研究環境

7-3-1 研究環境に不満はありますか。

- ①ある[7-3-2]へ ②ない[8へ]

7-3-2 具体的にどの点に不満がありますか。**複数回答可**

- ①学内の研究スペースが不十分（研究室・机・本棚・ロッカーなど） ②研究・実験器具が不十分
③図書館や教室などの学内施設が利用しにくい（利用時間や利用資格） ④PC・ネット環境の不備
⑤必要な資料・書籍が学内に少ない ⑥指導教員との関係 ⑦その他
()

8. 大学院生活の不安材料

8-1 大学院での研究・生活上および将来の懸念(不安)を教えてください。**複数回答可**

- ①生活費・研究費の工面 ②授業料の工面 ③研究の見通し ④研究条件の悪化
⑤奨学金の返済 ⑥就職状況 ⑦人間関係（ハラスメントなど） ⑧特になし
⑨その他 ()

8-2 あなたにとって必要な就職支援は、大学院で十分に行われていますか。

- ①行われている ②行われていない ③わからない

8-3 博士課程へ進学する上での懸念材料を教えてください。**複数回答可**

※修士課程在籍の方のみ回答ください。

- ①経済上の不安 ②就職状況 ③研究の見通し ④特になし ⑤進学しない
⑥その他 ()

Ⅲ 自由記述

最後に、現在あなたが直面している研究・生活上の問題や、院生の経済状況に関するご意見、あるいは奨学金事業を含む教育行政へのご要望などを、自由に書いてください。直面している問題があれば、できるだけ具体的に書いてください。なお、本アンケートに関しても、ご意見があれば書いてください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果につきましては、11月頃までに報告書としてまとめられます。アンケート報告書は以下のブログにアップロードされる予定です。

全院協ブログ URL : <http://www3.atword.jp/zeninkyo/>